

磐城時報

編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十二字 日金五十錢
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

入社

野澤武藏

小生福島民報支局長退社以來、來縣人相互の機關雜誌「福島縣と縣人」を發刊する計畫を進めて居りましたが、國策の線に沿ふべく發刊を断念し、警報時報社に入社、岡田弘成君は主として營業部を擔當協力してその一切を經營することになりました。

新興平市の象徴

公會堂落成す

けふ盛大な竣功祝賀式

新興平市の市街地に偉容を添へ、骨鐵網コンクリートの近代建築なる平市公會堂落成祝賀式は三日午前十時から來賓五百餘名を迎へ、新築成つた大ホールで舉行する予定で、四、五兩日一般に公開してその一切を經營することになりました。

無競争の夢破る

所得税調査委員選舉に

沼田、叶多兩氏も立候補

平市所得税調査委員選舉は十日各町別に執行する爲め、近き將來に於て紙政、民兩派では従前通り四、三の比率で無競争を申合せ

支度金を騙取

江名漁具商の悪事

江名町漁具商小沼熊太郎(四六)店、飲食店營業者を招致今後はを申渡し花柳界浄化に乗り出し十二時限り營業を許可せぬことと

作山町長の斡旋で

刑務所から征途へ

江名町の出征美談

刑務所中の青年が町長の赤誠に依つて殘餘の刑を免除され、更生して勇躍重要任務に就いた應召美談

藝妓の赤誠

七圓五十銭献金

四倉町新町藝妓置屋常盤亭方藝妓千代菊と柳澤てるよ(二二)さんは昨三十日四倉署を訪れ銀紙三百餘枚と金七圓五十銭を國防献金と差出したが金七圓五十銭は千代菊が座敷に出た度毎に一座敷五銭の貯蓄をしたものである

入社

主幹 野澤武藏

本紙は今日から従來使用致して居りました五號活字を全部ポイント活字に改めて紙面の刷新を圖り、又従來稍々雑に過ぎました廣告面の整理を断行してスペースを擴張し二面にも記事を取録し、これによつて全般的に内容の充實を期することと致しました。戦時下言論報道機關の使命愈々重きを加ふるに、完璧の編輯陣を整へ正確敏捷且つ穩健中正なる報道を以て愛讀者各位の御期待に副はんとするものであります。

兩勇士無言の凱旋

平窪出身矢吹、松本君

市内中盤出身騎兵曹長矢吹長貴君は七月十二日安慶沖合で戦死したが慰靈祭は六日原隊で執行されたが慰靈祭は六日原隊で執行されたが慰靈祭は六日原隊で執行された

渡邊コトさん

女子對抗競技出場

警報高女庭球部に資金時代を築きた元同校庭球部選手渡邊コトさんは現在長崎市清水女學校で教練を勤めてゐるが八、九、十日明治神宮外苑で舉行される後任に本社から鈴木木一氏が着任した

昭和人絹工場長

里村氏本社入り

里村氏本社入り

公會堂使用料

ホールの二十五圓

平市公會堂落成式當日、招待された日刊記者團の指定席を設け、特別に記者團は喫煙室でドリンクを三圓とする商品陳列その他の場合、記者團の席を忘れる等の弊害を防止する爲め、記者團の席を忘れる等の弊害を防止する爲め、記者團の席を忘れる等の弊害を防止する爲め

營業嚴禁

四倉署花柳界の浄化に乗出

四倉署花柳界の浄化に乗出

祝紙面刷新

祝紙面刷新

三井榮一

三井榮一

星一	東京女子洋裁學校長 渡邊豊重 東京京橋區銀座	安藤善觀 東京京橋區銀座	福島電燈株式會社
----	------------------------------	-----------------	----------

國民貯蓄と 簡易保険

(三) 平郵便局(寄)

△第三は 積立金の運用である。簡易保険ばかりでなく一般に生命保険に拠込まれた保険料は積立金として支拂はれるまゝでは積立金として集積され、いろいろな方面に向つて放資されるが、これが経済界に與へる影響は尠くない。

△第四は 支那事變特別取扱である。今次事變の勃發するや簡易保険は事業の使命と非常時局とに鑑み、速早く北支事變特別取扱規則を制定し北支、中南支の戦野に國國の華と散つた將

兵には保険金の即時拂を開始し、出征軍人軍屬及其家庭の契約に對しては保険料拂込額豫の便法を講じ、又此等軍人軍屬を被保険者とする新規契約の中申にはその手續の簡易化を圖る等の特別の措置を以て、戦後遺族の備へに完壁を期して居り、既に本年六月迄支拂つた保険金は五百八十七万九千余圓に上るを以ても如何に簡易保険が出征將兵の家族の生活安定に、又時局の戦後經濟に寄與してゐるか解る。

△第五は 簡易保険利用による戦後後援會の活躍。簡易保険事業成績は今時事變後特に一段の進歩向上を示してゐるが、其の原因の一つとして各方面に簡易保険利用に依る戦後後援會の結成があることを見逃すことは出来ぬ。この後援會の主体は概して町村在郷軍人會、婦人團、會社、工場、商店等であるが、之等の戦後後援會に於ては應召又は出動したるものに對し、自ら簡易保険の契約者となり、その保険料を負担するものであるが、而も實狀に於て團体拂込の方法に依つて、その割引を受けるが、その割引金を以て會の經營費に充當するといふものも多數ある現状である。

現在戦後後援會団体数は七百九十八組あり、その契約件数は三萬四千五百六十件、多額に上り、今後益々増加の傾向を示してゐるが、戦後會と簡易保険とを結び付けたこの施設は戦後を護る簡易保険の働きとして大きなもの一つであり、時局柄極めて有意義な企てであると考へることが出来る。

斯くの如く簡易保険は時局に即應じて國策遂行上大きな役割を演じてゐるが、更に事業の進進と其の使命とに稽へて、今回制度の内容に重要な改正が行はれ十月一日から實施せらるゝことになつた。

△改正の主要なる点を拾つて見ると

第一に 今迄の最高額四百五十圓であつた保険金額が七百圓に引上げられ、中産以下多數國民の保險需要を充足せしむることになつた。

第二に 終身保險と養老保險の保險料計算の基礎が改正されて従来よりも一、二割方保險料が安くなり、

第三に 小兒保險の加入年齢が引下げられて、満一歳から加入出来る様になつた。従つて是迄加入出来なかつた満一歳から三歳迄の幼児にも利用出来ることになり、

第四に 小兒保險の団体取扱が開始せられ成人保險と小兒保險の區別なく被保險者數十五人以上の契約を一團として其の保險料を代表者が拂込を爲す場合はその拂込保險料が一ヶ月分乃至五ヶ月分の時は保險料總額の百分の五、六ヶ月分前納の場合は百分の九の割引を受けることになつた。

尙從來の割引は第二回以後の保險料に與はれてゐたが、今後は第一回分の保險料から割引を受けることになつた。

働きのして大きなもの一つであり、時局柄極めて有意義な企てであると考へることが出来る。

斯くの如く簡易保険は時局に即應じて國策遂行上大きな役割を演じてゐるが、更に事業の進進と其の使命とに稽へて、今回制度の内容に重要な改正が行はれ十月一日から實施せらるゝことになつた。

△改正の主要なる点を拾つて見ると

第一に 今迄の最高額四百五十圓であつた保険金額が七百圓に引上げられ、中産以下多數國民の保險需要を充足せしむることになつた。

第二に 終身保險と養老保險の保險料計算の基礎が改正されて従来よりも一、二割方保險料が安くなり、

第三に 小兒保險の加入年齢が引下げられて、満一歳から加入出来る様になつた。従つて是迄加入出来なかつた満一歳から三歳迄の幼児にも利用出来ることになり、

第四に 小兒保險の団体取扱が開始せられ成人保險と小兒保險の區別なく被保險者數十五人以上の契約を一團として其の保險料を代表者が拂込を爲す場合はその拂込保險料が一ヶ月分乃至五ヶ月分の時は保險料總額の百分の五、六ヶ月分前納の場合は百分の九の割引を受けることになつた。

尙從來の割引は第二回以後の保險料に與はれてゐたが、今後は第一回分の保險料から割引を受けることになつた。

働きとして大きなもの一つであり、時局柄極めて有意義な企てであると考へることが出来る。

斯くの如く簡易保険は時局に即應じて國策遂行上大きな役割を演じてゐるが、更に事業の進進と其の使命とに稽へて、今回制度の内容に重要な改正が行はれ十月一日から實施せらるゝことになつた。

△改正の主要なる点を拾つて見ると

第一に 今迄の最高額四百五十圓であつた保険金額が七百圓に引上げられ、中産以下多數國民の保險需要を充足せしむることになつた。

第二に 終身保險と養老保險の保險料計算の基礎が改正されて従来よりも一、二割方保險料が安くなり、

第三に 小兒保險の加入年齢が引下げられて、満一歳から加入出来る様になつた。従つて是迄加入出来なかつた満一歳から三歳迄の幼児にも利用出来ることになり、

第四に 小兒保險の団体取扱が開始せられ成人保險と小兒保險の區別なく被保險者數十五人以上の契約を一團として其の保險料を代表者が拂込を爲す場合はその拂込保險料が一ヶ月分乃至五ヶ月分の時は保險料總額の百分の五、六ヶ月分前納の場合は百分の九の割引を受けることになつた。

尙從來の割引は第二回以後の保險料に與はれてゐたが、今後は第一回分の保險料から割引を受けることになつた。

働きとして大きなもの一つであり、時局柄極めて有意義な企てであると考へることが出来る。

斯くの如く簡易保険は時局に即應じて國策遂行上大きな役割を演じてゐるが、更に事業の進進と其の使命とに稽へて、今回制度の内容に重要な改正が行はれ十月一日から實施せらるゝことになつた。

△改正の主要なる点を拾つて見ると

第一に 今迄の最高額四百五十圓であつた保険金額が七百圓に引上げられ、中産以下多數國民の保險需要を充足せしむることになつた。

第二に 終身保險と養老保險の保險料計算の基礎が改正されて従来よりも一、二割方保險料が安くなり、

第三に 小兒保險の加入年齢が引下げられて、満一歳から加入出来る様になつた。従つて是迄加入出来なかつた満一歳から三歳迄の幼児にも利用出来ることになり、

第四に 小兒保險の団体取扱が開始せられ成人保險と小兒保險の區別なく被保險者數十五人以上の契約を一團として其の保險料を代表者が拂込を爲す場合はその拂込保險料が一ヶ月分乃至五ヶ月分の時は保險料總額の百分の五、六ヶ月分前納の場合は百分の九の割引を受けることになつた。

尙從來の割引は第二回以後の保險料に與はれてゐたが、今後は第一回分の保險料から割引を受けることになつた。

一日一言

野澤武藏
石城中小商工互融會の吉田昌弘(四八)に係るインテリ金融融會は内容複雑多岐に亘つてゐる爲検査當局の取調も慎重を期してゐたものゝ如く、検査當局から豫審へ廻附されて三ヶ月を経過、今春三月十九日平野員に検査されて以來更に六ヶ月を過ぎてゐるため石城地方にセンセーションを

△保險年報國運動
國民生活の安定といふことは戦時は勿論戦後の經營に當つても特に緊要である。逡信省が國策に協力するため今春簡易保險及郵便年報國運動を起して全國の呼びかけた所各方面から多大の共鳴を得、成果を挙げたことは國民大衆の時局に對する強い認識が反映したものと云つてもよい。

この報國運動はさきに逡信省が内閣情報部、内務、文部、商工、農林其他の關係各省及國民精神總動員中央聯盟諸団体と提携し更に地方的には市

飲んで腫物の妙藥
八方散
水野藥局
平市一・電六九九

鹽豚
平市田町
三三三三屋
電話三三三三番

徒弟募集
加納活版所

町村其他の諸団体と密接なる連携を保ち、演説、講演會及地方有力者との座談會等の開催其他各種の施設を行ひ、異狀な成績を収めて來た。今次更に第二次の報國運動を起すこととなつたが前回の以上の支持と協力が期待される。

國民大衆が本運動を通じて公私經濟の充實と強化に努めることは究極に於て帝國の光榮を高揚するところであり、又次代國民に對する吾々の崇高なる義務の一端を果すこととなるのである。

移轉の御通知
私儀今般左記肩書の場所に移轉致しました、從來通り御交誼賜はり度願上ります。

昭和十三年十月一日
搔樋小路一番地
辯護士 安齋勝美
(元千葉辯護士事務所跡)

お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目
電話一四一四番

夜間
腸胃科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
門專
院醫科
村松
腸胃病性
町南市平
(番七〇一電)

吸入用酸素度99%
モノサシ
ハカリ
マ ス
体温器
寒暖計

回寫真機
回秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
材料一式
關内藥局
電話四〇番

酒は……
松竹梅より
やさき鳥
おでん茶めし
お酒のあこに
おけさめし

酒の店味郷
平市三田小路

御婚禮御着附
パーマメント
ウエーブ
和洋結髪
オゾン美顔術
御染髪洗毛
御爪術
平市驛前
水野化粧院
電話(六七八)營業所
(五二五)自宅